

街フォトスワラップ

みんなのイマをパシャ!!

イベント

春バラの美しさに魅了される
 かのやばら祭り2015春



4月25日～5月31日まで「かのやばら祭り2015春」が開催されました。期間中は多くのイベントが実施され、公務員系アイドル「ガバメントワーカー」による国民文化祭のPRや、「飛び出せラジオinかのやばら園」、徳永英明のものまねでおなじみの「英明ライブ」では、多くの家族連れなどでにぎわいました。

リナフェスタでにぎわう



5月3日、リナシティかのやで、「リナフェスタ2015」が開催されました。当日は黒豚カレー教室、10mのロールケーキの試食、クイズラリーなどのユニークなイベントが行われ、多くの来場者でにぎわいました。またホールやギャラリーでは、障害のある人もない人も一緒に楽しむ「とっておきの音楽祭」も開催され、来場者はあらためて音楽の魅力を感じていました。



また5月7日には満開宣言を行い、順調に生育したバラの前で南部幼稚園の園児が可愛らしい歌を披露。5月17日には毎年恒例の「浅井慎平写真撮影会」が行われ、アマチュアカメラマンが構図や被写体の選び方など、プロの技術を学ぼうと真剣に耳を傾けていました。期間中ばら園には、県内外から約5万人の来園者が訪れ、様々なイベントを楽しむとともに、一面に咲き誇る春バラの美しさや香りに魅了されていました。



5月11日、市役所1階ロビーでアコースティックユニット高鈴のロビーコンサートが行われました。これは秋に行われる国民文化祭の事業のひとつである「音楽のチカラ」をPRしようとして行われたもの。当日は高隈中学校、鹿屋中央高校の生徒たちとレコーディングした「私たちが帰る場所」など計5曲を披露。観客は美しいギター音色と歌声にしっかりと聞き入っていました。

美しい音色と歌に魅了される

今年もやねだんで芸術祭



5月3日～6日まで、串良町上小原の柳谷町内会「やねだん」で「第8回めつたに見られない芸術祭」が行われました。集落で活動を続ける7人の芸術家による展示・販売が行われたほか、オープニングの式典では作品の一つである鐘の除幕式や踊りなども披露。やねだんを訪れた人々は、めつたに見られない芸術作品に魅了されていました。

レクリエーションでさわやかな汗



5月23日、市体育館で「鹿屋市保健福祉ふれあいレクリエーション」が開催されました。当日は高齢者クラブや母子寡婦福祉会など約260人が参加。笑いヨガや民族楽器を用いたの楽しいレクリエーションのほか、おはら節などの踊りが行われました。参加者はレクリエーションを通して、お互いの親睦と交流を深めていました。

スポーツ

バレーボールで熱い戦い



5月14日～17日まで、市体育館・串良平和アリーナ・鹿屋体育大学の3会場で「九州大学春季バレーボール男子リーグ鹿児島大会」が開催されました。これは、毎年春と秋に行われているリーグ戦が鹿屋市で開催されたもので、九州内の大学39校約500人が参加。地元の鹿屋体育大学は熱戦の結果、昨秋から一つ順位を上げ4位となりました。

幻想的なホタルの光に包まれて



5月23日、平房活性化センターで、毎年恒例のひらぼうほたるの里「ほたる祭り」オープニングイベントが開催されました。ほたるの里の看板設置に伴う除幕式や、マスコットの「ひらちゃん」「ぼうちゃん」のフライト式、エイサー太鼓などの舞台発表が行われ、参加者はイベントを楽しんだ後、思い思いにホタルを観察していました。

ボランティア

ウミガメの安全な産卵を願って



5月30日、浜田海岸で清掃活動が行われました。これはウミガメが安全に上陸・産卵できるように清掃活動を行い、環境問題について考えるきっかけにしようとして行われているもの。当日は市民約150人が参加し、ビニールやペットボトルなど約210kgのごみを回収。参加者はウミガメが安全に産卵することを願いながら、1つ1つごみを拾っていました。

難コースを駆け抜ける



5月9日、輝北うわば公園で「第27回南日本クロスカントリー大会inきほく」が開催されました。当日は、大雨と濃霧に包まれたあいにくの天候。参加者はぬかるむ走路を疾走し、難コースを駆け抜けるクロスカントリーの醍醐味を味わっていましたが、途中コースコンディションの悪化に伴い4種目が中止となりました。